

2020年も残すところ僅かとなりました。今年とは違うところがたくさんあった1年でしたね。新しい生活様式が少しずつ定着してきましたが、慣れは油断大敵です。来年も大事なご家族と一緒に楽しい時間を過ごすため、気を引き締めて今できることを行っていきましょう。

登録に来ていただいた方、利用してくださった方、こもれば通信を見てくださった方、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様よいお年をお迎えください。

事前登録が必要です！

母子健康手帳・健康保険証・新潟市子ども医療費助成受給者証をお持ちください。1度の登録で小学校6年生まで有効です。同じ医師連絡票で連続7日間まで利用することができます。お気軽にご相談ください。(感染症が流行る時期などはお部屋が空いていないこともあります。) **来室前にお電話ください。**

12月29日から1月3日までお休みです。新年は1月4日(月)から開室します。

新潟市の病児・病後児保育のHPはこちらです。



病後児保育室 こもれば

〒950-3322

新潟市北区嘉山533番地

TEL025-385-6101

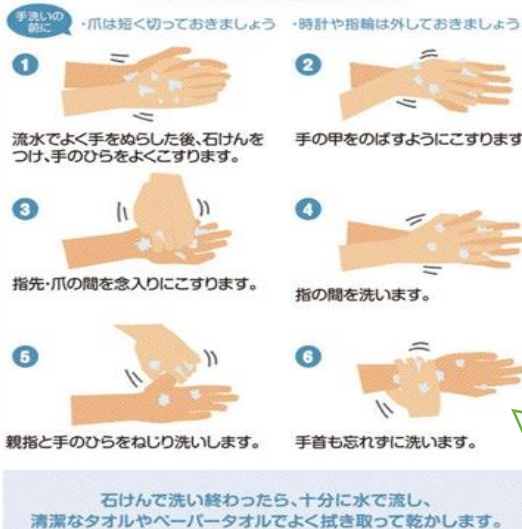
<http://kotorinomori.org>



こもれば通信は、新潟市病児・病後児保育事業の一環として受託事業者が行う、感染症流行状況や予防策などの情報提供です。

年末年始もうつさない、うつらないを心掛けましょう

正しい手の洗い方



(厚生労働省ホームページより)

大人が正しい洗い方をやって見せ、お子さんが正しく手を洗えるように知らせていきましょう。

手洗い・手の消毒などの頻度が増えたり、乾燥もあり、子どもの手荒れが増えています。手洗い後、よく水分を拭き取ったり、保湿をしたりして手荒れを防ぎましょう。ひどくなったり、長引く場合は受診しましょう。

12月に入り、感染性胃腸炎での利用が増えています！

ウィルス性の胃腸炎は「お腹の風邪」「吐き下し」「嘔吐下痢症」など様々な呼び方があります。感染すると12～48時間以内で下痢・吐き気・嘔吐・腹痛・発熱などの症状が出ます。その後、嘔吐を繰り返したり、下痢から軟便が1週間程度続きます。大人でもつらい症状ですね。

嘔吐した直後は飲んだり食べたりせず、胃腸を休めてあげましょう。吐き気がなくなってから少量の水分補給をします。嘔吐を繰り返すと、体内の水分も失うことになるので、脱水の心配があります。水分を摂っても嘔吐しなくなれば、おかゆやパンがゆなどの穀物から取るようにしましょう。少し食べられるようになって胃腸の働きは100%元に戻ったわけではありません。調子が戻り始めると、ついついいつもの調子で食べてしまうことがあります。またぶり返してしまうことがあるので食べる物、食べる量など気をつけましょう。

こもれば利用状況(11月)

予約	感冒	アデノウイルス
4名	3名	1名